

研究タイトル:

地域交通システム, シチズンシップ教育



氏名: 加藤 博和 / Kato Hirokazu E-mail: katou@yonago-k.ac.jp

職名: 教授 学位: 博士(経営情報学)

所属学会・協会: 地理科学学会, 日本高等教育学会, 日本交通学会 他

キーワード: 地域交通, 地域政策, 消費者教育, 主権者教育, 一般教育(一般科目)

 技術相談
 提供可能技術:

- ・地域公共交通・地域政策等に関する相談
- ・シチズンシップ教育(主権者教育, 消費者教育, NIE 等)に関する相談

研究内容: 地域交通システム

車社会・少子高齢社会における便利で持続可能な地域交通システムのあり方に関するフィールドワークを行っています。特に、少子高齢化が進んでいる過疎地域(中山間地域)を中心に、従来の乗合バスのみならず、タクシーや自家用車などによる地域の特性に合った交通システムの構築が課題となっています。

どのような交通システムが良いか、実際に地域に出掛けて、政策志向の実態把握調査(アンケート, 聴き取り等), 意見交換, 試験運行・検証などを行い、地域住民の方も交えて考えています。

具体例として、地域・事業者・行政等と連携・協力しながら、南部町においてバス路線から離れた集落での、レンタカーを使用した「共助交通」の試験運行を行いました(2009年11~12月, 2010年8~10月)(図1)。地域振興協議会による「共助交通」の運行開始後には、住民(利用者)・運転者を交えた意見交換会を持ち(2011年12月)(図2), PDCA サイクルを回しています。地域・事業者・行政等とのコーディネートやファシリテートなどを担うことができます。



図1 「共助交通」の試験運行



図2 意見交換会の様子

担当科目 地理, 社会科学Ⅲ, 人文社会特論

過去の実績

- ・広島大学高等教育研究開発センター2016年度国際共同研究推進事業(共同利用(個人研究支援型))に採択
- ・平成21年度受託事業:「共助交通システム構築」(鳥取県西部総合事務所)
- ・平成19年度受託研究, 平成20~令和3年度受託事業:「くらしの経済・法律講座」(鳥取県消費生活センター)
- ・令和3年度共同研究「大山町が運行しているデマンドバス「スマイル大山号」の運行効率化に関する研究」(大山町)

近年の業績

(研究・教育論文, 特許含む)

- ・「自動車運転免許返納政策に対する事業者・自治体の取り組み状況と課題」『交通学研究』第59号、日本交通学会、pp.197-204、2016年3月(査読論文)
- ・「高専社会科を通じた模擬選挙・主権者教育の実践」『日本高専学会誌』第22巻第2号、pp.3-8、2017年4月
- ・「鳥取県内市町村における地域公共交通の計画と政策課題—市町村へのアンケート調査結果を基に—」『過疎地交通の新展開と地域コミュニティへのインパクト』(日交研シリーズA-770)、日本交通政策研究会、2020年1月、pp.61-77